

GOOD DESIGN IS UNIVERSAL!

1. 単純な導線

- ・ 玄関における入館者と退館者の衝突防止、導線の明確化のため入口と出口を分離

2. 方向の定位、移動のしやすさ

- ・ メインロビーには広い休憩スペースが用意され、ベンチの下は盲導犬の為に設けられている。
- ・ 館内の全ての機能が円滑に可動するため、導線が計算されたデザイン。
- ・ 各階は基本的に同じ構造。（エレベータを出て右側に各階のインフォメーションを設置）

3. 質の高い照明

- ・ 大きな窓から、羞明を防止した自然光を採取（薄いプレキシガラスを使用）
- ・ 公共の場所と個室内を照明の種類で区別、かつ場所毎に照明の強度が大きく変化しない配慮。

4. 明確な境界（色、明度、触覚を利用）

- ・ 玄関から受付まで視認性の高い誘導ラインを敷設。
- ・ 受付には、拡大文字で書かれた館内各階地図と触知図案内板を設置。
- ・ 館内の移動上重要な箇所に高いコントラストを使用（床と壁の境、壁とドアの境、壁と階段の手すり、階段の踏み面と段鼻、机の端）
- ・ 各箇所に黒地に白文字の拡大文字での案内表示と、点字表示、浮き出し文字による表示
- ・ 反射、羞明を減らすため、光沢を抑えた塗料の使用。

5. 聴覚を活用したサイン

- ・ エレベータの音声誘導案内装置の設置
- ・ 「トーキング・サイン」の使用

6. 安全性

- ・ 玄関自動ドアに衝突防止ラベルの設置、明確な開き部分と固定部分の区別。
- ・ 導線となる箇所には障害物を排除。